

# 治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町

電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

ホームページ <https://zensuiren.org/>

お問い合わせ [info@zensuiren.org](mailto:info@zensuiren.org)

編集・発行 椿本和幸



錦帯橋(山口県岩国市 二級河川錦川)

## ● 目 次

河川愛護月間をかえりみて.....	2
東北地方治水大会の開催について.....	3
北陸地方治水大会の開催について.....	5
近畿地方治水大会の開催について.....	7
中国地方治水大会の開催について.....	9
四国地方治水大会の開催について.....	12
九州地方治水大会の開催について.....	15



# 河川愛護月間をかえりみて

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、規模を縮小するなど実施内容を見直した部分もありますが、「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」を推進標語として、各地方整備局、都道府県、市町村が主体となり、全国各地でポスター、チラシ等による広報活動をはじめ、河川のクリーン作戦等、多様な活動が、地域住民、河川愛護団体、関係行政機関等の協力を得て実施され、多数の方々の参加をいただきました。

月間中に行われた行事等の成果を踏まえて、今後とも、地域住民、市民団体等と協力した流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、年間を通して、国民の河川愛護意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。

また、これらの活動に加え、河川愛護月間推進特別事業として、「川遊び～川での思い出・川への思い」をテーマに絵と文章を組み合わせて描いた絵手紙の募集を10月15日まで行っており、関係機関誌等を通じ、引き続き広く募集活動を行っております。

募集についての詳細は、国土交通省水管理・国土保全局ホームページ中『河川愛護月間』(<http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html>)に掲載しております。



河川体験学習



河川一斉清掃



河川の学習会



河川の安全点検

## 東北地方治水大会の開催について(ご案内)

令和3年11月2日(火) 13:30～  
盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡  
NEW WING (web併用開催)  
事務局：岩手県県土整備部河川課内

令和3年度東北地方治水大会の事務局を担当します岩手県から、本県のPRと大会の御案内をさせていただきます。

### 【岩手県のすがた】

岩手県は、本州の北東部に位置し、南北にやや長く、東西約122km、南北約189kmに及び、面積は約15,275km<sup>2</sup>で、北海道に次いで全国第2位の県土となっています。

西方を南北に走る奥羽山脈は秋田県との県境・分水嶺となり、これと並行して東部には北上高地があります。この東西の山地を、北は馬淵川が青森県に、南は北上川が宮城県に流れ、北上高地の東部の川は太平洋に注いでいます。

沿岸部は、宮古市以南は最大10kmにおよぶ奥深い湾と岬が入り組んで、リアス式海岸となり、宮古市以北では高い海岸段丘が発達して、雄大な景観を展開しています。

気候は、こうした地理的条件に加え、三陸沖合で寒流と暖流が相接しており、これらの要素が気候に大きく影響を及ぼしています。県庁所在地の盛岡市の平年値は、気温10.2℃、年降水量1,266mm(盛岡地方气象台「岩手の気候特性」)となっています。

### 【河川の現況】

岩手県内を流れる河川は、北上川水系、米代川水系及び馬淵川水系の207一級河川、気仙川水系ほか44水系の107二級河川で、法河川48水系、314河川、指定河川延長3,122.9kmで、うち県管理は312河川、指定河川延長2,831.4kmとなっています。

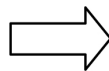
### 【近年の洪水被害と主な治水事業】

県内の河川改修事業は、近年の洪水により家屋の浸水被害が発生した箇所を、優先的に実施していますが、本県の河川整備率は50.6%(R2末)であり、全国平均58.0%と比較し、低い水準にあります。

平成28年8月には統計史上初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風第10号の豪雨に伴い、沿岸部を中心に記録的な大雨となり、各地で大規模な浸水被害が発生しました。特に岩泉町の小本川では河川の氾濫により高齢者グループホームが浸水し、利用者9名の尊い命が失われることとなりました。



岩泉町 小本川上流 (被災直後)



岩泉町 小本川上流 (施工中)





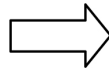
岩泉町 小本川下流（被災直後）



岩泉町 小本川下流（施工中）



岩泉町 安家川（被災直後）



岩泉町 安家川（復旧後）

小本川では、災害復旧助成事業と河川激甚災害対策特別緊急事業を導入し、再度の浸水被害を防止するための治水対策を行っております。

また、令和元年10月の台風第19号では沿岸北部久慈市の6河川において溢水による浸水被害が生じ、特に小屋畑川では床上浸水123棟、床下浸水110棟、沢川では床上浸水134棟、床下浸水110棟の甚大な被害が発生しました。

小屋畑川、沢川については再度災害や浸水被害の防止を図るため、浸水対策重点地域緊急事業等を導入し、令和3年度に事業着手しております。

本県においても厳しい財政状況が今後も続くことが見込まれることから、これまで以上に緊急性、必要性及び効率性を重視した重点的な事業展開を図る必要があり、具体的には、近年洪水により被害実績がある区間や資産の集中している箇所、今後資産の増大が見込まれる箇所、区画整理事業等他事業との関連がある区間について、優先的に整備を進めていくことにしています。

併せて、水防警報河川及び水位周知河川の指定や、浸水想定区域図の作成を進めることにより、水防体制の強化や、市町村が行うハザードマップの作成

を支援するなど、ソフト対策を推進していきます。

震災以降、県内外の皆様方から多くの御支援、復興に向けた温かい励ましをいただきました。大変ありがとうございます。

県民一丸となって復興に取り組んでおり、震災から10年が経過しハード施設の復旧は概ね目途が付きましたが、被災者の心のケア等ソフト面での施策継続が必要であると考えています。

**【東北地方治水大会の開催】**

令和3年度の東北地方治水大会は、11月2日（火）に開催いたします。今回は新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、WEB形式を併用しての開催とさせていただきます。御了承のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、御多忙の中恐縮ですが、ぜひ御視聴いただきますようお願い申し上げます。（WEB開催の視聴URLについては、別途、御連絡いたします。）

## 北陸地方治水大会の開催について(ご案内)

開催日時：令和3年10月27日 14：00～  
会 場：金沢市昭和町16-3  
ANAクラウンプラザホテル金沢

令和3年度北陸地方治水大会の事務局を担当します石川県から、本県の紹介と大会のご案内を申し上げます。

### 【石川県のすがた】

石川県は本州のほぼ中央部、日本海側に位置し、地形は南北に細長く(東西約100km、南北約198km、海岸線約581km)、南は日本三名山の一つに称えられる白山を水源とする手取川などで形作られた肥沃な加賀平野、北は日本海に突き出た能登半島からなり、白山国立公園、能登半島国立公園などに代表されるように豊かな自然に恵まれています。

また、海岸線は、波打ち際を車で走行できる千里浜海岸のほか、能登金剛や曾々木海岸などの荒々しい能登外浦、七尾湾や九十九湾などの穏やかな能登内浦など、長く変化に富み、それぞれ特色ある地形を形成しています。

県内総人口は約113万人で、11市8町の行政区画で構成されております。県都金沢市は藩政時代から加賀百万石の城下町として栄え、城下町の情緒を今に伝える街並みが至るところに残されているのが特徴です。近年は、現代アートやオーケストラなど新しい文化都市としての一面でも注目され、伝統と新しさが共存する街として、その魅力を世界中に発信しています。

気候は日本海側気候であり、西寄りの季節風が対馬暖流の影響で水蒸気を蓄え、白山山系など山岳部に当たり、夏は降雨、冬は降雪をもたらすことが多く、年間降水量は国内でも上位であり、北陸地方の常で冬期の日照時間が少ないことも特徴となっています。

本県では、質の高い文化やものづくり産業・高等教育機関の集積など、石川の個性ともいべき財産に磨きをかけるとともに、陸・海・空の交流基盤を最大限に活用することにより、交流人口の拡大に努めてきました。とりわけ、平成27年の北陸新幹線金沢開業後は、想定を超える高いレベルで開業効果が持続し、活況を呈していましたが、現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けており、今一度、原点に立ち返って、本県の勢いを復活・拡大させ、令和5年度末の県内全線開業へとつなげていく所存です。



金沢駅鼓門・もてなしドーム



木場湯からみる白山



世界農業遺産「能登の里山海(千枚田)」

### 【河川の概要】

本県は南北に細長い半島地形という特色から、県内最大の手取川に代表されるように、水源から河口までの標高差が大きく距離が短い急流河川が多いという特徴を有しています。

河川は、一級河川として、手取川(長さ72km)と梯川(長さ42km)の2水系48河川があり、その他、



二級河川の59水系164河川と併せ、県管理河川は61水系212河川となっています。さらに、準用河川を含めると120水系391河川となっています。

【近年の主な災害と事業実施状況】

近年、集中豪雨による被害が全国的に激甚化・頻発化している中、急流河川が多い本県でも大きな被害が心配されています。平成20年7月に発生した集中豪雨は、金沢市を流れる浅野川の上流部や市街地に甚大な浸水被害をもたらしました。また、平成30年には、県内各地で観測史上最大を記録する集中豪雨が相次ぎ、8月末の能登地域を中心とした豪雨では、複数の河川で越水による被害が生じました。このような浸水被害を防止するため、石川県では、ハード・ソフト両面からの治水対策に取り組んでいます。

ハード対策としては、過去に大規模な被害が発生した河川や、人家が連担するなど、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される県管理の16河川において、河川改修を重点的に進めています。また、

効果が高い反面、工事完了までに長期間を要する抜本的な河川改修と並行し、即効性のある災害予防対策として、河川の堆積土砂の除去にも力を入れています。

一方、ハード対策だけでは防ぎきれない、記録的な豪雨が発生する可能性があることから、住民の避難態勢の強化を図るソフト対策も積極的に行っております。

具体的には、洪水浸水想定区域図の見直しについて、県内水位周知河川全てにおいて完了させていますが、小規模河川についても作成に着手しており、令和5年の出水期までに公表したいと考えております。また、住民一人ひとりが、避難するまでの自らの行動を時系列でとりまとめておく「マイ・タイムライン」の内容を盛り込んだリーフレットを作成し、全世帯に配布するとともに、河川の状況をよりきめ細かに情報発信するため、水位計や河川監視カメラの増設にも取り組んでいます。

河川改修の事例（犀川：金沢市）



拡幅



堆積土砂除去の事例（熊木川：七尾市）



土砂除去



【北陸地方治水大会の開催】

最後になりましたが、今年度の北陸地方治水大会は、10月27日(水)に金沢市で開催することといたします。

本大会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感

染症拡大防止のため、従来より会場における参加者数を抑え、オンライン視聴を併用して開催することといたしました。皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、ぜひ、ご視聴いただきますようお願い申し上げます。

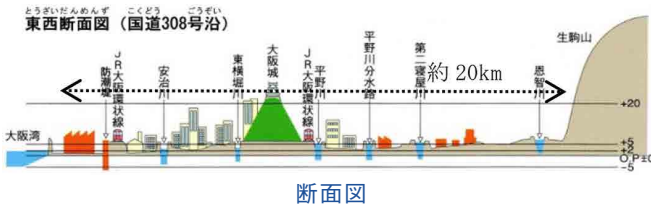
# 近畿地方治水大会の開催について(ご案内)

令和3年10月25日(月) 14:00～  
WEB開催  
大阪府都市整備部河川室

今年度の近畿地方治水大会につきまして、事務局を担当します大阪府河川室より本府の河川事業の取組みと開催の御案内をさせていただきます。

## 【大阪府のすがた】

大阪府は、近畿地方の中部に位置し、北西は兵庫県、北は京都府、東は奈良県、南は和歌山県に接しています。府域は、東西方向に約20km、南北方向に約80kmと南北に細長く、西は大阪湾、残る三方は北摂・金剛生駒・和泉葛城の山系に囲まれています。そのため市街地は、近郊に周辺山系や海辺を有し、淀川・大和川等の河川や丘陵部によって区分されています。また、平地は淀川や大和川より低い位置で、雨水が自然に河川に流れ込まない「内水域」が広がっており、河床勾配も緩いため、潮の干満の影響を受ける感潮区間が生駒山麓近くまで延びているのが特徴です。



また、府域において、淀川水系の一級河川が112河川、大和川水系の河川が22河川、単独水系の二級河川が40河川の合計174河川があります。このうち、本府が管理する一級河川は、淀川水系97河川、大和川水系20河川、二級河川は37河川の合計154河川あり、総延長は約777kmとなっています。人口は約882万人(令和3年8月1日現在)、府域面積は約1,905km<sup>2</sup>と狭小で、都市的土地利用の進展により、府域のほぼ全域が都市計画区域で、約5割を市街化区域が占めています。

大阪市内には「水の都」を象徴する都市景観やユニバーサル・スタジオ・ジャパンをはじめとするエンターテインメント施設、他地域には百舌鳥・古市古墳群等の歴史的・文化的建造物があり、豊かな観光資源を有しています。また、大阪には繊維・衣服や、機械金属生活用品等の地場産業が集積し、約30万の中小企業が立地しており、世界・国内トップシェアの企

業や、技術力を持つ企業も多いのが大阪府の強みです。

## 【近年の災害～平成30年台風第21号での三大水門における治水効果～】

大阪平野の河口部に位置する西大阪地域は、室戸台風(昭和9年)やジェーン台風(昭和25年)、第二室戸台風(昭和36年)等による高潮被害を受けてきたため、木津川等の3河川において、国内では珍しいアーチ型の防潮水門(三大水門)を昭和45年に整備し、防潮堤と一体となり、高潮から大阪を守る重要な施設として機能しています。平成30年の台風第21号では、第二室戸台風を上回る観測史上最高の潮位を記録しましたが、三大水門の適切な操作により市街地の高潮被害(直接的な被害軽減額のみ)の試算で約17兆円を防ぐことができました。



三大水門(木津川水門)下流の閉鎖状況

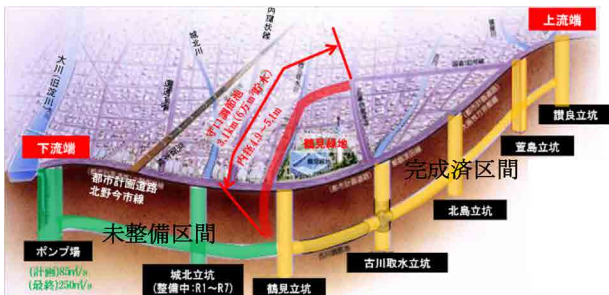
### (1) 寝屋川流域総合治水対策

寝屋川流域は、大阪府の中央部に位置し、北を淀川、南を大和川、東を生駒山、西を大阪城が位置する上町台地に囲まれた約270km<sup>2</sup>の流域です。流域内には、約270万人の人々が暮らしており、人口と資産が集積しています。内水域が広く、感潮区間である上に、昭和30年代から市街地が急激に拡大した脆弱な流域であることが特徴です。

このようなことから、平成18年に特定都市河川流域に指定し、これまで進めてきた河道改修や分水路及び遊水地整備といった外水対策に加え、内水対策として、河川と下水が連携した地下河川や調節池の整備、さらに、流域での対策を位置付けて、取組み



を推進しており、流域全体であらゆる関係者が協働し、水害を軽減させる総合治水を実施しており、現在国で進めている流域治水の先駆けとすることができます。



寝屋川北部地下河川 全体延長14.3km(内9.7km完成)



立坑：外径約35m、深さ約100m

建設中の寝屋川北部地下河川(城北立坑)

### (2) 安威川ダム建設事業

安威川ダムは、100年に1度程度発生する規模の降雨に対する浸水から、府民の生命や関西・西日本の経済活動を支える国土軸、物流拠点などの重要施設を守るための治水対策であり、令和3年度末には堤体の盛立が完了する予定です。また、盛立完了後の令和4年春に試験湛水を開始し、令和5年度末のダム事業全体の完了をめざしています。



安威川ダム完成予想パース

### (3) 三大水門の更新

高潮対策として築造された三大水門は、完成後50年以上経過し、老朽化が進んでいることから、更新することとし、更新にあたっては、近年の気候変動の影響を踏まえた高潮対策に加え、南海トラフ地震による津波への対策を行うこととし、順次進めていきます。



現在の木津川水門

整備後の木津川水門のイメージ

### 【近畿地方治水大会の開催】

令和3年度の近畿地方治水大会は10月25日(月)に開催いたします。今回は新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、WEB形式での開催とさせていただきます。御了承のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、御多忙の中恐縮ですが、ぜひ御視聴いただきますようお願い申し上げます。

(WEB会議の視聴URLについては、別途、御連絡いたします。)



# 中国地方治水大会の開催について(ご案内)

令和3年10月11日(月) 14:00～  
WEBによる開催  
山口県土木建築部河川課

今年度の中国地方治水大会事務局を担当します山口県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

## 【山口県のすがた】

山口県は本州の西端に位置し、三方が海に開かれ、東西に中国山地が走り、大きくは、瀬戸内海沿岸地域、内陸山間地域、日本海沿岸地域の3つに分けられ、気候は概して温暖であり、地震も比較的少なく、全体として住み良い県といわれています。

約1,500キロメートルに及ぶ長い海岸線は、穏やかな多島海美の「瀬戸内海」と、荒々しい浸食海岸美の「日本海」という異なった表情を持っており、北と南で鮮やかなコントラストを見せてくれます。

また、中国山地の西端に位置する緑の山々は、その懐に、我が国最大級のカルスト台地と鍾乳洞を持つ「秋吉台(あきよしだい) 国定公園」、原生林と溪谷美の「西中国山地国定公園」などの景勝地を抱き、四季折々に変化に富んだ顔を見せてくれます。



<角島大橋(下関市)>



<秋吉台(美祿市)>



<錦帯橋(岩国市)>

## 【河川の現況】

山口県は日本海・響灘・瀬戸内海と三方が海に開かれており、山口県の河川は中央部の中国山地を源として発しているため、流路が短く河川密度が高いことが特徴となっています。そのため、令和2年度現在、県が管理する水系数は108水系で全国6位、二級水系の河川数は474河川で北海道に次いで全国2位となっています。

山口県の管理する二級河川の総延長は2,211.7kmで、中国地方の他の4県の二級河川の総延長1,959.9kmより長い管理延長となっています。

## 【近年の浸水被害と治水対策】

山口県は梅雨時期に西側の海域から流入してくる暖湿気の影響を受けやすく、6月、7月の降水量は中国地方の中でも比較的多い傾向にあります。近年の浸水被害も梅雨前線豪雨によるものが主で、下図に示すように、平成20年以降だけでみても大規模な出水による浸水被害が県内各地で発生しています。

特に平成25年7月28日に県北部を襲った豪雨は、萩市須佐で138mm/h、山口市徳佐で324mm/日の観測史上1位の降水量を観測する記録的なものであり、JR山口線の橋梁流失や広範囲にわたる浸水などの甚大な被害を受けています。

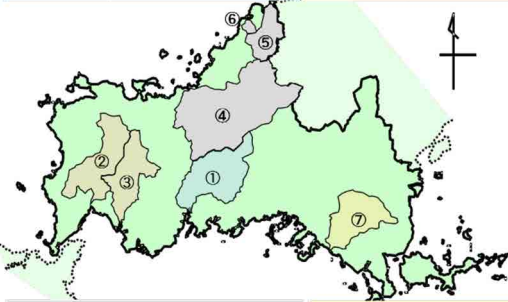
県では河川激甚災害対策特別緊急事業や災害対策等緊急事業推進費等により、被害を受けた箇所の河川整備を重点的に実施したところですが、頻発・



激甚化する水害から県民の命と暮らしを守るため、引き続き治水対策を着実に推進していくこととしています。

ここでは、直近の平成30年7月に大規模な浸水被害を受けた島田川について紹介させていただきます。

<b>H21.7豪雨</b> ①樫野川	<b>H22.7豪雨</b> ②木屋川・③厚狭川
時間雨量 77mm (山口)	時間雨量 72mm (豊田)
3時間雨量 161mm (山口)	3時間雨量 116mm (豊田)
浸水被害 床上100戸、床下170戸	浸水被害 床上405戸、床下390戸

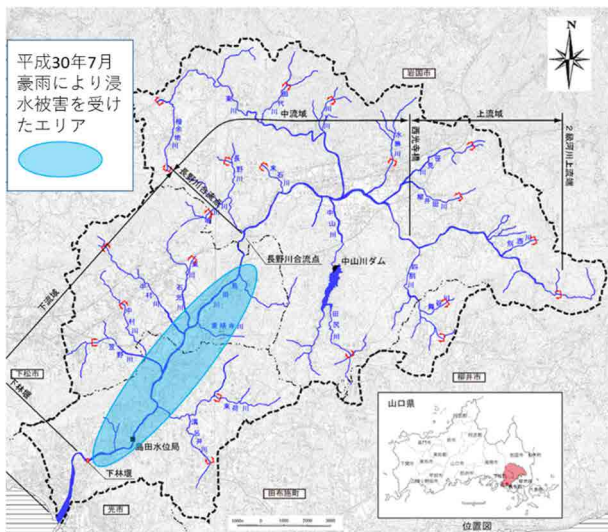


<b>H25.7豪雨</b> ④阿武川・⑤田万川・⑥須佐川	<b>H30.7豪雨</b> ⑦島田川
時間雨量 138mm (須佐)	時間雨量 76mm (玖珂)
3時間雨量 238mm (須佐)	3時間雨量 135mm (玖珂)
浸水被害 床上646戸、床下343戸	浸水被害 床上208戸、床下270戸

### ○島田川の豪雨及び河川の状況

島田川は県の東部(岩国市、周南市、光市)を流下し瀬戸内海に注ぐ流域面積263.1km<sup>2</sup>の2級河川です。流域に広がる田園地帯には伝統的な治水対策である霞堤が複数あり、その遊水効果により下流にある資産集中地域の浸水被害の軽減が図られています。

平成30年7月の梅雨前線豪雨は、戦後最大となる流域平均雨量419mm/2日を記録しています。流量規模が非常に大きかったことから、既存のダムや霞堤による遊水効果はあったものの、霞堤以外の堤防からも越水が起り、下流域で大規模な浸水被害が発生しました。

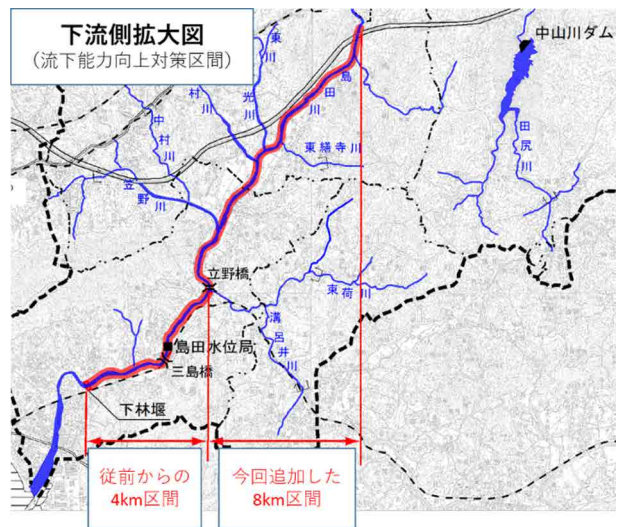


浸水状況 (光市三井地区)

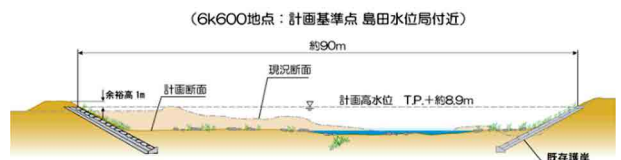


### ○島田川の河川改修

島田川については平成22年に河川整備計画を策定していましたが、今回の洪水は当時対象としていたものを上回ったことから、この洪水を対象を含めた改修計画とするため、令和2年5月に河川整備計画を変更しました。新たな河川整備計画の流下能力向上対策区間については、従来から整備することとしていた4km区間に、その上流8km区間を追加しています。なお、霞堤については、従前どおり維持することとしています。



ハード対策として、平成30年7月豪雨で特に被害の大きかった区間については、平成30年度に災害対策等緊急事業推進費により、集中的に河道掘削等を実施し河積を拡大することで、家屋浸水被害の軽減を図ったところであり、現在は河川整備計画に基づき、引堤等の工事を進めています。





また、ソフト対策としては、従来からあった水位局に加え、河川監視カメラ、簡易型水位計を整備し、住民の避難に役立つ情報の発信に努めています。

### 【中国地方治水大会の開催】

令和3年度の中国地方治水大会は、10月11日（月）14時00分から開催いたします。なお、今回は新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、WEB形式により実施とさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、ご多忙の中恐縮ですが、ぜひご視聴いただきますようお願い申し上げます。



<瑠璃光寺 五重塔(山口市)>

## 四国地方治水大会の開催について(ご案内)

令和3年10月29日13:30～

Web会議

愛媛県土木部河川港湾局河川課

令和3年度の四国地方治水大会の事務局を担当します愛媛県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

### 【愛媛県のすがた】

愛媛県は、四国の北西部に位置し、日本一長い半島である佐田岬半島を境に、瀬戸内海と宇和海の2つの海に面しています。

多島美で知られる瀬戸内海とリアス式海岸や南部海域でサンゴが見られる宇和海は、ともに国立公園に指定されており、愛媛県民のみならず、全国各地から多くの観光客が訪れています。一方、山に目を転じますと、西日本最高峰の石鎚山をはじめとする四国山地がそびえており、その谷間を清水が流れ、魚や昆虫などが多く生息し、多様な自然環境を育んでいます。このように、愛媛県には、海に山に豊かな自然があふれています。

また、松山城、道後温泉本館、内子町や西予市の古い町並みなど、多くの文化財を有しているほか、正岡子規をはじめとする多くの俳人が育った「俳句王国」として知られるなど、歴史と伝統ある文化が今も残されています。



江戸時代から今に伝わる松山城

本県の瀬戸内海側では、年間降水量は1,200～1,650mmと、全国平均の1,700mmより少ない状況にあり、また、河川の多くは、分水嶺が県境よりも瀬戸内海側に迫っており、本県に降った雨はその多くが他県に流出してしまう地形的な特性を有していることから、過去に、しばしば渇水に見舞われてまいりました。

また、地形的に急峻な山稜が海岸線に近接しているため急流の単流河川が多く、通常は表流水が少ないものの、いったん豪雨があると一挙に土砂を押し流す濁流の出水となって、沿岸地域に氾濫し、今日まで多大な被害を与えてきました。

ご案内のとおり、今年の四国地方は、観測史上最も早い5月に梅雨入りし、直後の梅雨前線では、梅雨末期を思わせる豪雨に見舞われ、各地で被害が発生しました。その一方で、東予地域では、夏期には少雨となり、取水制限が行われました。このように本県は、水害や渇水が繰り返し発生しやすい環境にあります。

### 【河川の現況】

本県を流れる河川は、重信川、肱川などの一級水系745河川、二級水系412河川で、合計1,157河川が流れており、総延長は全国6位となる約3,072kmとなっておりますが、時間雨量50mmに対応できる県管理河川の整備率は、令和2年度末現在で45.5%にとどまっております。

### 【近年の浸水被害と今後の取組方針】

本県では、梅雨前線や台風による豪雨などにより、過去に幾度となく甚大な浸水被害を受けております。特に、平成30年7月の西日本豪雨では、一級河川肱川(大洲市・西予市)が氾濫し、流域全体で浸水面積約1,400ha、浸水家屋約4,700戸に及ぶ被害が発生したほか、二級河川立間川(宇和島市)でも、約1,700戸が浸水するなど、南予地域を中心に県下全域で甚大な被害が発生しており、西日本豪雨からの創造的復興を県の最優先課題に掲げ、河川激甚災害対策特別緊急事業等による再度災害防止に取り組んでおります。





H30.7月豪雨で氾濫する肱川(大洲市菅田)

さらに、近年、激甚化・頻発化している水害に対しても、県と市町等の関係機関、行政と住民が一体となって、ハード・ソフトをバランスよく組み合わせた洪水対策を進めております。

ハード対策では、浸水履歴や背後地の人口・資産の状況など、緊急性・重要性等を総合的に判断し、選択と集中を図りながら、効率的・効果的な河川整備に努めており、近年全国各地で毎年のように発生している堤防決壊等による大規模水害を踏まえ、堤防整備・河道拡幅(洪水を安全に流すハード対策)に加えて、越水が発生した場合でも決壊までの時間を引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策工(危機管理型ハード対策)にも取り組んでいます。

また、ソフト対策としては、洪水時における市町の水防活動や住民の避難を支援することを目的に、令和元年度から2年度にかけて、危機管理型水位計を142箇所、簡易型河川監視カメラを19箇所、新設しました。さらに、水防警報および水位周知河川として、新たに12河川を指定し、洪水浸水想定区域図を作成・公表することで、地域住民のさらなる実効性のある避難行動を支援しています。

その他、切迫する南海トラフ地震に備え、水門・樋門等の耐震化や海岸事業と連携する堤防嵩上げ等の地震・津波対策と今後急速に進む河川管理施設の延命化や維持管理費用の縮減を図る老朽化対策を合わせて、本県では、①豪雨対策、②地震・津波対策、③老朽化(長寿命化)対策を治水対策の三本柱として、事業を展開しております。

さらに、近年の気候変動の影響による水害リスクの増大に備え、国が提唱する流域治水を本県でも積極的に推進しており、令和3年3月には、一級水系肱

川及び重信川に加え、二級水系立間川において、全国に先駆けて流域治水プロジェクトを策定したところであり、今後は、本取組みを県内全域に展開し、国・県・市町等の関係者が一体となって地域の安全・安心の確保に取り組むこととしています。



進む肱川の堤防整備(大洲市菅田)R3.6月時点

#### 【四国地方治水大会の開催】

最後になりましたが、毎年開催されております四国地方治水大会は、今年10月29日(金)に県都松山市にて開催することとしておりましたが、本県及び四国各県における新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、Web方式での開催となりました。

開催予定地であった松山市は、山頂に松山城がそびえたつ勝山(標高132m)を中心として、道後温泉や近代俳句の祖・正岡子規に関する多彩な資料を展示している子規記念博物館、司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」をテーマにした「坂の上の雲ミュージアム」など、たくさんの観光施設があります。

また、日本で初めてとなる海峡を横断する自転車道を有するしまなみ海道でレンタサイクルを利用し、海と島が織りなす瀬戸内海の美しさを味わうことなどもできますので、ぜひ松山城やこれらの観光施設を訪れることをお勧めいたします。

皆様方がご来県の際には、愛媛の歴史や文化に触れて、新しい愛媛を発見していただくとともに、瀬戸内の豊かな自然と食を堪能していただければと思います。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。



多島美の瀬戸内海を横断するしまなみ海道



## 九州地方治水大会の開催について(ご案内)

令和3年10月20日(水) 14:00～  
 熊本市 ホテル熊本テルサ(WEB開催)  
 事務局：熊本県河川港湾局河川課

今年度の九州地方治水大会につきまして、事務局を担当します熊本県から本県の紹介と大会の御案内をさせていただきます。

### 【熊本県のすがた】

本県は、九州地方のほぼ中央部に位置し、面積は約7,409㎢で、全国15位、その約6割が森林に占められています。

北部は比較的緩やかな山地、東から南にかけては標高1,000m級の山々に囲まれており、その随所に深い谷があり、見事な渓谷美を見せています。西部は有明海、八代海に面し、外洋の東シナ海に続いています。

世界に誇るカルデラを持つ雄大な阿蘇を含む「阿蘇くじゅう国立公園」。大小120の島々からなる「雲仙天草国立公園」と2つの国立公園を持ち、山あり海ありの美しい景観に富んだ地形になっています。

熊本地方は、熊本平野を中心として夏は蒸し暑く、冬の冷え込みが厳しい内陸的な気候です。

### 【河川の現況】

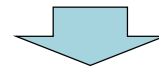
熊本県は九州の中央に位置し、宮崎県との県境には九州の脊梁をなす九州山地が走っています。

本県を流れる河川は、一級河川が8水系・260河川・延長1,436km、二級河川が81水系・148河川・延長627kmであり、この他に準用河川が940河川・延長1,267kmとなっています。

### 【近年の浸水被害と治水対策】

#### (1) 平成24年7月九州北部豪雨

平成24年7月12日未明から、県北地域を中心に線状降水帯が発生し、白川水系の流域面積の約8割を占める阿蘇カルデラ内を中心に短時間に記録的な大雨となりました。



〔白川〕龍田陣内・下南部地区の河道付替(熊本市)

阿蘇市では、1時間あたり100mm前後の雨が4時間継続するなど、12日0時から9時までに492.5mmを観測する記録的な豪雨となりました。この豪雨により、阿蘇カルデラ内を流れる白川水系黒川や下流の熊本市街地を流れる白川では、河川の水位が大きく上昇し、流域全体で甚大な被害が発生しました。

この災害に対し、白川水系白川及び黒川は河川激甚災害対策特別緊急事業として採択され、白川9.4km、黒川27.0km間において再度災害防止を目的に河道付替、掘削、築堤、遊水地、輪中堤及び宅地嵩上げ等、上下流一体となった治水対策を実施しました。

白川では、特に浸水被害が甚大であった龍田陣内・下南部地区において、大規模な河道付替(ショートカット)による河川改修を実施しました。

白川上流に位置する黒川においては、河道掘削や改修とともに、洪水調整のため地役権方式の遊水地や輪中堤及び宅地嵩上を実施しました。



〔黒川〕遊水地の整備(阿蘇市)

## (2) 令和2年7月豪雨

令和2年7月3日から4日にかけて、県南地域を中心に線状降水帯の長期間にわたる停滞により、想定を超える非常に激しい豪雨となり、球磨川流域等で、多くの河川の氾濫や土砂災害が発生しました。



〔球磨川〕浸水被害状況(人吉市)

球磨川流域においては、令和2年7月豪雨を受けて、今年3月に「球磨川水系流域治水プロジェクト」を策定し、現在、河川整備方針の見直しや河川整備計画の策定など、具体的対策を実施するために必要な手続きを着実に進めています。

これらの手続きと並行して、できるだけ早期に整備に着手できるよう、例えば、国において、遊水地や宅地嵩上げの調査・検討、住民説明会が実施されているほか、新たな流水型ダムの調査・検討なども進められています。

一方で、こうしたハード対策の効果が十分に発揮されるまでには一定の期間を要し、その間、今回のような豪雨により、再び災害が発生することも想定されます。

そのため、ソフト対策が重要であり、戸別受信機の設置や、想定最大規模の降雨を踏まえた洪水ハザードマップによる周知などの情報伝達や避難訓練の実施などの住民の避難行動に関する取組みを進め

ています。

このように、ハード対策のみならずソフト対策についても、国、県、流域市町村と住民の皆様が連携して取り組むことにより、球磨川流域の安全・安心を確保していくことが重要と考えています。

## 【九州地方治水大会の開催】

令和3年度の九州地方治水大会は、10月20日(水)に開催いたします。今回は新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、WEB形式での開催とさせていただきます。御了承のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、御多忙の中恐縮ですが、ぜひ御視聴いただきますようお願い申し上げます。

(WEB会議の視聴URLについては、別途、御連絡いたします。)